

“生活の質”を守る独自の介護が評価

舞浜倶楽部がアジア・太平洋高齢者ケア・イノベーション・アワードで部門最優秀賞を受賞

2017年4月26日にシンガポールで開催された「第5回アジア・太平洋高齢者ケア・イノベーション・アワード」で、株式会社舞浜倶楽部「新浦安フォーラム」が、エイジング・イン・プレイス部門の最優秀賞に輝いた。

住み慣れた地域で
最期まで自分らしく

このアワードは、アジア・太平洋地域最大の高齢者ビジネスコンベンションで、高齢者ケアに関わる施設やサービス、製品などで革新的な取り組みを行っている事業者が参加している。今年14カ国から190を超え、エントリーがあった。

エイジング・イン・プレイス部門は、住み慣れた地域の中で最期まで自分らしい生活を送ることができる環境を提供している施設に贈られるもので、舞浜倶楽部「新浦安フォーラム」は初エントリーでの受賞となった。舞浜倶楽部は、グスタフ・ストランド代表取締役の出身国でもあるスウェーデンのケアを取り

入れた独自の介護が特長。

在宅・通所・宿泊・入居支援、24時間体制のクリニック、外来、研修などあらゆる介護サービス、ひとつのコミュニティで地域に密着して行っている。

「認知症は環境の変化で悪化することも。だからこそ、最期まで住み慣れた地域で、プライベートが守られた生活が大切。そんな、生活の質を守る介護」という私たちの取り組みが認められ、うれしいです」と、グスタフさんは話す。

20年で介護の質が向上

自身の受賞はもちろんだが、全20部門のうち4部門で日本の介護事業者が受賞したことが、グスタフさんは何よりもうれ

しかったという。

「私が日本で介護に携わり始めた90年代は、プライベートが守られない介護現場がほとんど。それが20年たち、介護の質は劇的に向上しました。以前は外国へ介護の勉強に行っていた日本が、今では世界中から介護の勉強にやってくる人を迎える立場になったのですから」

舞浜倶楽部へも、韓国や中国、台湾、シンガポールなどアジアを中心とした国や地域から多くの見学者が訪れている。「中でもシンガポールが勉強熱心で、介護の向上を目指しているリヤン財

団が浦安まで取材にきてドキュメンタリーを作成したほど。今向のプレゼンテーションでそのドキュメンタリーの一部を使わせていただき、大変好評でした」

日本ならではの
介護とは

これほど日本の介護が注目されるようになったのは、なぜか。グスタフさんは日本ならではの3つの要素があるからだと言及する。

住み替えやリフォーム前に チェック!

浦安市「住宅情報ガイド」

浦安市では、市や国・県・関連機関が行っている各種住宅関連支援事業や情報をまとめた「浦安市住宅情報ガイド」をホームページで公開している。

浦安市内の市営・県営住宅やUR賃貸住宅に関する、市が実施するさまざまな「助成・補助」「減税」など支援事業について、また国で行っている住宅リフォーム等による減税制度などを紹介。「国土交通省」「住宅性能表示制度」、「(一社)マンション再生協会」など、参考関連サイトも掲載している。

必要に応じてダウンロードして利用しよう。

●問い合わせ ☎047-712-6284 住宅課

ひとつめは、ホスピタリティ。いわゆる、もてなしや接遇の心だ。「たとえば旅館の女将さんのように、日本のもてなしは、ていねいでありながら距離を感じさせない親切さがある。他の国ではていねいにすればするほど、冷たく、距離ができてしまいがち。日本人の上手な接遇は介護現場で重要しますから、私たちも接遇研修を必ず行っています」

あとふたつは、お風呂と食事だという。「日本ではお風呂はからだを洗うためだけではなく、癒しや自分への褒美の時間。そして多くの食材を使ってさまざまな料理をそろえる和食は、おいしい上からだにいいものばかり。他の国の料理はおいしいものは大抵、カロリーが高くてからだにはあまりよくないでしょうね。こうした日本の素晴らしいものを取り入れることで、どこの国にも負けない介護ができるのだと思います」

福祉先進国のスウェー

Information

講演会・講習会・体験会

1000円/入会金500円)
▽テキスト メール配信または200円で販売
▽講師 藤井高夫
☎047-354-2590
☎080-3450-7947清水

●水彩画「水彩道々」
透明水彩で花や風景を描く(写真利用可)
▽第1・3木曜PM1~3
▽エルシティ1 番館集会所(美浜1-1)
▽入会金 なし
▽年会費 1000円